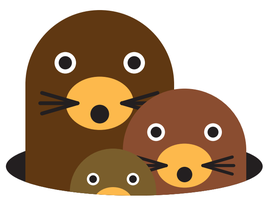
# NUMOの対話活動



## シンポジウム

## セミナー

## 学習の支援事業

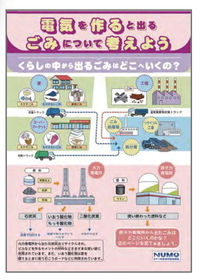
地層処分事業に対し理解を深めたいと考えている団体などを対象として、地層処分事業に関連する施設の見学や専門家を招いた勉強会などを実施。

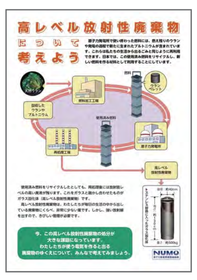
## 出前授業

小・中・高等学校、大学など、また教育関係者の皆さまの集まりでの、地層処分についての講義や実験など。

## 基本教材の作成

地層処分を初めて授業で扱う小・中学校の先生にも使いやすい基本教材を作成。全国の教育委員会やエネルギー教育に関心の高い学校などに配布。




小学生・中学生向け教材

教師用解説資料

## 次世代向けイベント

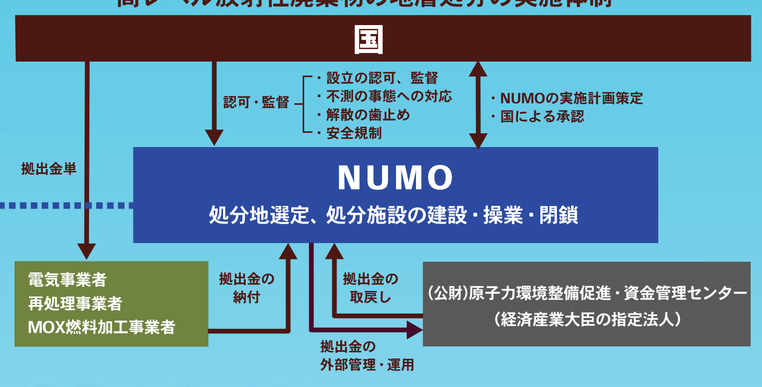
コミュニケーション３Ｄシアター
### ジオ・ミライ号

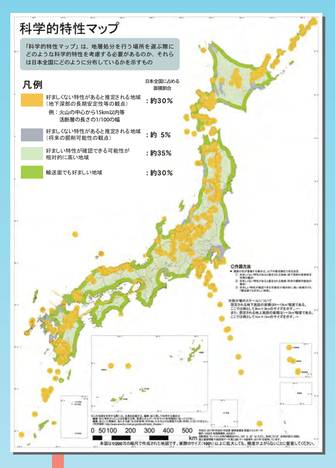
次世代層の来場が期待できる科学館・商業施設・公園等へ地層処分模型展示車「ジオ・ミライ号」を派遣。地層処分に関する 3D 映像の上映や、ベントナイトを用いた理科実験等を通じて情報提供。

## 原子力発電環境整備機構（NUMO（ニューモ））とは

NUMOは、「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」に基づき2000年（平成12年）に設立された経済産業大臣の認可法人です。

### 高レベル放射性廃棄物の地層処分の実施体制




### 事業の進め方

地層処分事業は、調査から処分場の閉鎖まで100年にもおよぶ事業です。将来世代に負担を先送りしないよう、現世代の責任で、地層処分を進める必要があります。2017年7月、経済産業省資源エネルギー庁により「科学的特性マップ」が提示されました。

処分場に適さない場所の例

**処分費用 約3.8兆円**
(2018年3月末時点)

※高レベル放射性廃棄物（3.0兆円）とＴＲＵ廃棄物（0.8兆円）の合計

- 一家庭あたり毎月20円程度（仮に、原子力発電の割合を1/3とした場合）
- 2018年度末の時点で積立額は約1兆660億円

| 約20年 | | | | 約10年 | 約50年以上 | 約10年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国による「科学的特性マップ」の提示 → 重点的な理解活動（説明会の開催等） → ・自治体からの応募 ・複数地域に対し、国から申入れ | 文献調査 過去の履歴など文献による調査 明らかに適性の低い場所を避ける | 概要調査 ボーリングによる調査など 適性がある場所であることの見通しを得る | 精密調査 地下調査施設での調査・試験 適性があり、安全性が確保できる場所であることを確認する | 最終処分施設建設地（処分地）の選定 | 建設 | 操業 | 閉鎖 |

法律に基づく処分地選定調査

文献調査の開始に向けて新たなプロセスを追加

都道府県知事、市町村長の意見を聴き、反対の場合には次の段階に進まない

## 様々な広報活動

ホームページをはじめ、様々な媒体をとおして、地層処分についての最新情報を発信。

NUMOホームページ

NUMO

ＮＵＭＯの事業概要や地層処分に関する技術開発などを紹介しています。
また、イベント情報などの最新の取り組みもご覧いただけます。

NUMO公式Facebook

NUMO公式インスタグラム

NUMO公式メールマガジン
隔週(月2回程度)

YouTube
Channel NUMO

## メディアを活用した取り組み

新聞社を筆頭としたグループネットワークを活用し、複数のメディア（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web）を相互に連携した「クロスメディア」を展開し、社会各層へ情報提供を実施

| 日本経済新聞 | 産経新聞社 | 読売新聞 |
|---|---|---|
| 日経新聞 | 産経新聞 | 読売新聞 |
| 日経ビジネス | フジサンケイビジネスアイ | 中央公論 |
| 日経新聞デジタル | 夕刊フジ | 婦人公論 |
| 日経ビジネスオンライン | サンケイエクスプレス | 報知新聞 |
| | 産経デジタル | 中高生新聞 |
| | BSフジ特番 | ヨミウリ・オンライン |
| | | ＢＳ日テレ特番 |

雑誌広告

新聞広告

WEB広告

テレビ番組

## ADFES（アドフェス）との協働企画

大学の広告研究会が１年に１度集い広告プランを競うイベントにNUMO がテーマ提供企業として協力

**実施概要**　「高レベル放射性廃棄物の処分問題に関する認知拡大」をテーマに広告プランを競い合った。
全国の９大学から 14 チームが応募

- 金賞：一橋大学
- 銀賞：日本大学
- 銅賞：神戸大学

グランプリファイナルの様子

### 一橋大学の企画「来来来世」

「手のひらサイズの地層処分」と称して、ガラス固化体を模擬したモバイルバッテリーを大学で配布。使い終わったバッテリーを地層処分場に模した回収箱に返却（処分）してもらうと、回収箱のスクリーン上に来世を救ってくれたことを感謝するメッセージ画面が表示され、自分たちが未来を救ったことを体感させるイベントを企画。

※金賞を受賞した一橋チームの企画を参考にしたイベントを、國學院大学、中央大学で実施

キャンペーン実施の様子（中央大学）

## デジタルハリウッド・アースプロジェクトとの協働企画

映像やアニメーションなど先端メディアの専門領域を学ぶデジタルハリウッド（大学、大学院、専門スクール）が、地球規模で存在する課題や世代をまたいで存在する中期的な課題について、デジタルコンテンツを通して解決を試みる取組みにＮＵＭＯがテーマ提供企業として協力

**実施概要**　地層処分に対する理解と関心の底上げにつながる動画制作に取り組んだ。
４チームが作品出展し、「On Your Mark」という作品が最優秀賞に輝いた。

### 「On Your Mark」概要

日本人の誰もが抱く「原発」や「放射線」に対する漠然とした不安や無関心が、この問題を考えるうえでの障壁ととらえ、日本の置かれた現状や最終処分のプロセスをコミカルな CG で分かりやすく表現

最優秀賞「On Your Mark」の映像イメージ

## ＶＲ（ヴァーチャルリアリティ）映像の活用

スイスの地層処分実施主体 NAGRA 社が制作した広報用映像をＮＵＭＯが和訳。未来への旅を通じて、地層処分施設の様子、処分地周辺の変遷などをご覧いただきながら、処分事業を紹介する内容で、説明会やイベントなどで活用

NAGRA社が制作した広報用映像のイメージ

会場の様子

## 大学でのディベート講義支援

ディベート論題：「日本は高レベル放射性廃棄物の地層処分計画を撤廃し、地上での管理を義務付けるべきである。是か非か。」

**ＮＵＭＯの支援内容**

- 原子力や地層処分に関する講義を２回実施
- 講義期間中の週末に、地下施設の見学と放射性廃棄物貯蔵管理施設の見学を各１回実施（希望者対象）

学生によるディベート試合の状況

地下研究所の視察状況

**※ディベート試合の進め方**

双方が決められた時間内で意見を主張、その論理的な優劣によって勝敗が判定される。

1. 肯定側・否定側それぞれの立論３分
2. 質疑２分
3. 肯定側・否定側の第一反駁２分
4. 肯定側・否定側の第二反駁２分

→ 判定


NUMO 原子力発電環境整備機構
原子力発電環境整備機構
Nuclear Waste Management Organization of Japan
〒108-0014 東京都港区芝4丁目1番23号三田NNビル2階　TEL：03-6371-4003（広報部代表）　ホームページ：https://www.numo.or.jp/


2018年7月制作